



（このほかに誕生日を迎えたかたは、次のとおり）
*木戸 逢心ちゃん（3歳）



岡部 美海ちゃん（3歳）

3月
MARCH



北野原陽真ちゃん（2歳）



坂本壮一郎ちゃん（2歳）

まちの話題

Town Topics

幼児センター 外遊び

地域の安全・安心に関する協定締結

2/24

2月24日（木）、浦河警察署で浦河・様似・えりも各町の社会福祉協議会が浦河警察署と「地域の安全・安心に関する協定」を締結しました。これは、地域の安全を見守る活動を行いながら、犯罪や事故の発生、住民の安全確保に関する情報を共有するためのものです。様似町社会福祉協議会の小野哲弘会長は「地域の見守り活動を行い、警察と連携を密にして地域の安全・安心に大きく貢献していきたい」と話されました。

3/7

地域林業の活性化をめざして

地域の林業に携わり、林業資源の維持・造成をめざす「日高地域青年林業士」として認定された清水清貴さん（西様似）へ、3月7日（月）、北村英則日高振興局長より認定証が手渡されました。清水さんは、30代のころ素材生産業を営んでいる大叔父のもと、造材や丸太の搬出作業に従事。認定を受け、「身の引き締まる思い。森林・林業に関する研修に積極的に参加し、今以上に技術を身につけたいです。」と意気込みを話されました。



今年是不漁、3月のふのり漁

3/8

3月8日（火）、今年初めてのふのり漁が行われました。予定していた2月にはふのりが育っていなかったことや悪天候も重なり1か月延長して、3月での採取となりました。しかし、今年はふのりの成長が悪く、採取に来た人たちは「全然採れない。3月になるといつもなら伸びているが今年は出荷せずに食べる分だけ採る。」と想定外のふのりの量に嘆いていました。



アポイ岳ジオパーク トピック&ニュース ジオトピ

Mt. Apoi Geopark Topics & News

「アイヌ文化に見られる植物利用」

3月19日（土）のカンカン講座では、ダンボールを使って織物体験を行いました。織物とは、縦糸と横糸を組み合わせて作った布地のことです。アイヌ文化には植物を利用した織物が見られます。代表的なアイヌ伝統の織物として、アットウシとチタラベを紹介します。

アットウシ（樹皮衣）とは、オヒョウやシナノキの内皮から作った糸を織って作られた衣服のことです。儀式用の衣服として着用するほか、日常着として老若男女問わず着用されます。

チタラベ（花ござ）は、ガマという植物を織って作られます。文様入りのチタラベは、儀式のときに道具を置いたり、壁に飾るのに使われます。文様は、シナノキの内皮を染めたものや木綿の布が前面に織り込まれて作られます。

キナ（無地のござ）は敷物や窓、壁にかけると日常生活の中で利用されます。アットウシとチタラベは様似郷土館で見ることができます。



アットウシ（樹皮衣）



チタラベ（花ござ）